

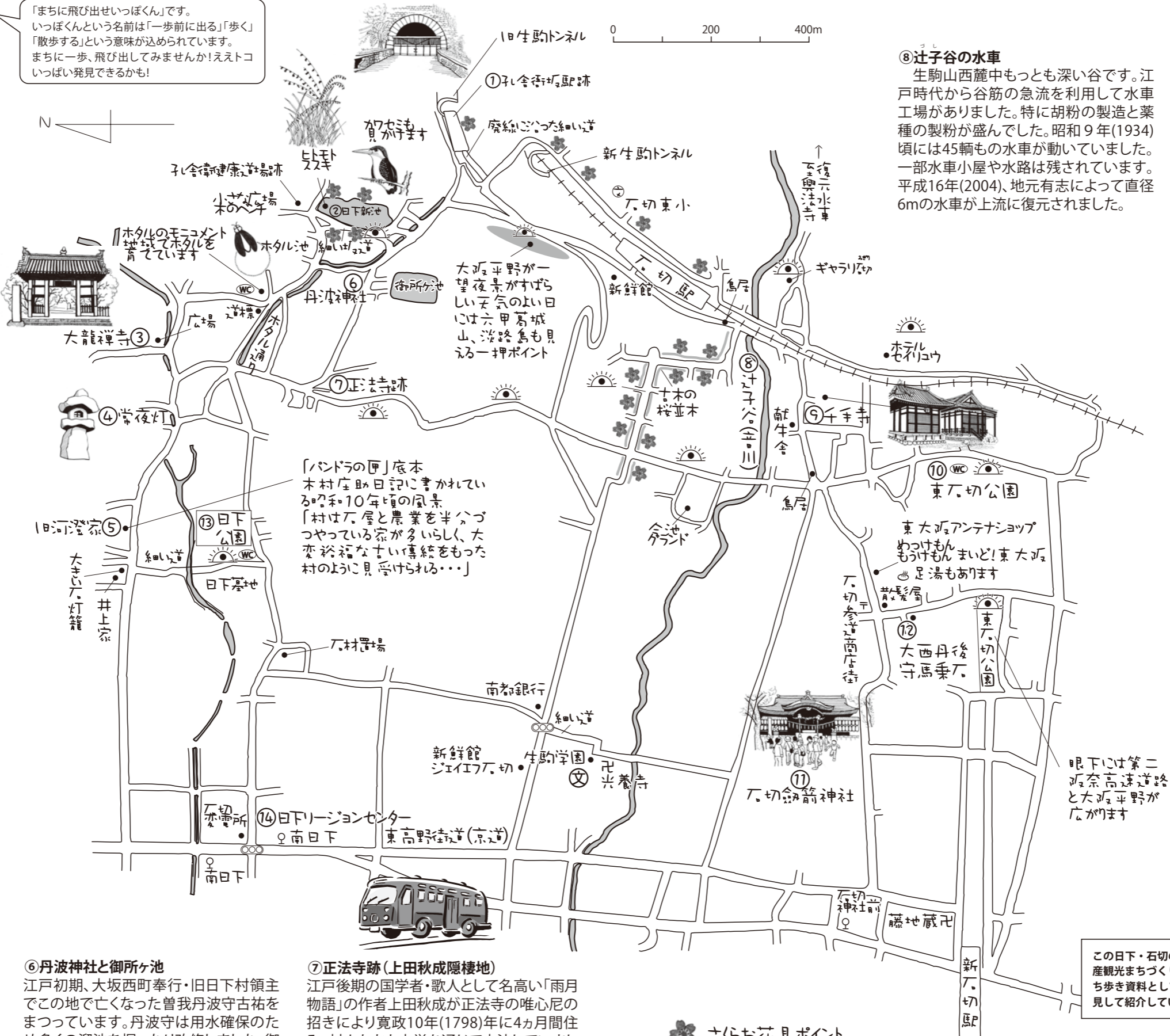
# 東大阪 えとこ Map



## 文学散歩 日下・石切周辺 — 太宰治「パンドラの匣」のルーツを求めて —

「まちに飛び出せいっぽくん」です。いっぽくんという名前は「一步前」に出る「歩く」「散歩する」という意味が込められています。まちに一步、飛び出してみませんか! えとこいっぱい発見できるかも!

太宰治「パンドラの匣」のルーツは、昭和の始め頃、日下新池畔にあった「孔舎衛健康道場」で療養していた木村庄助の病床日記が底本で、日記の遺贈を受けた太宰が戦後、小説化しました。江戸時代には上田秋成も逗留し村人と文芸や茶道をつうじて交流し、石切神社の祭りも訪れています。昭和初期、谷崎潤一郎は日新高校の北付近にあった大阪の豪商根津家の別荘に住んでいました。河内平野が一望できる風光明媚な山里が残っています。



**①旧生駒トンネル・孔舎衛坂駅跡**  
大正3年(1914)4月、大軌(現近鉄奈良線)の開通から後、トンネル入口に日下駅が設置されました。その後、駅名は鷲尾駅、神武天皇の即位から2600年にあたる昭和15年(1940)に、神武天皇の伝説に因んで、孔舎衛坂駅と改称されました。昭和39年(1964)、新生駒トンネルの開通にともない廃駅となり、現在はプラットフォームの一部と古いトンネルが残されています。

**②日下新池(天女池) 孔舎衛健康道場跡**  
大軌電車開通後の大正4年(1915)に地元の人たちの手で「日下遊園地」が開設され、周辺には料理旅館、少女歌劇団、ミニ動物園、池には貸ボートが、池の周辺の桜が満開になるころ花見の人たちでにぎわいました。今も桜の名所です。池の一角に市の天然記念物に指定されているヒトモトススキ(カヤツリグサの一種)が保存されています。池の北側の料理旅館跡に太宰治の小説「パンドラの匣」の舞台になった健康道場が建てられていました。

**③大龍禅寺**  
聖徳太子の創建と伝えられ、応仁の乱で焼失しました。現在の建物は元禄年間に再建されたものです。黄檗宗の特色ある伽藍4棟が市の文化財に指定されています。境内の墓地には上田秋成を世話した正法寺の唯心尼(紫蓮)の墓があります。彼女は、当地の出身で、江戸時代、難波の町人によって設立された懐徳堂を運営していた両替商平瀬家の縁者です。秋成も若い頃、懐徳堂に通っていました。

**④日下集落常夜灯**  
地蔵堂の横にある常夜灯の竿の文字は生駒山人(森文雄)の筆です。生駒山人は漢学者で、京都の頼山陽と並び称された人です。

**⑤旧河澄家住宅**  
日下の地には上田秋成を慕った河内の文化人が多く集まっていました。河澄家もその一つです。古くから曾我丹波守(日下村の領主・大坂西町奉行)や生駒山人とつながりの深い旧家でした。市指定の建物は市に寄贈され、一般公開されています。邸内のカヤの木も市指定文化財。西側にある井上家は江戸時代の趣をよく残しています。この付近は木村庄助日記にもでてくる町並みです。  
開館時間/9:30~16:30  
休 館 日/月曜日(月曜日が祝日の場合はその翌日)、祝日の翌日、年末年始

入 場 料/無料  
T E L / 072-984-1640

**⑥丹波神社と御所ヶ池**  
江戸初期、大坂西町奉行・旧日下村領主でこの地で亡くなった曾我丹波守古祐をまつています。丹波守は用水確保のため多くの溜池を掘ったり改修しました。御所ヶ池もその一つです。村人では、その墓を後年、神としてまつり現在の神社になっています。

**⑦正法寺跡(上田秋成隠棲地)**  
江戸後期の国学者・歌人として名高い「雨月物語」の作者上田秋成が正法寺の唯心尼の招きにより寛政10年(1798)年に4ヵ月間住み、村人たちと文学を通じて交流していました。寺は明治維新後廃寺となりました。

0 200 400m

**⑧辻子谷の水車**  
生駒山西麓中もつとも深い谷です。江戸時代から谷筋の急流を利用して水車工場がありました。特に胡粉の製造と菓種の製粉が盛んでした。昭和9年(1934)頃には45輛もの水車が動いていました。一部水車小屋や水路は残されています。平成16年(2004)、地元有志によって直径6mの水車が上流に復元されました。

**⑩東石切公園**  
大阪平野が一望でき、広い芝生のある公園。四季々楽しめます。ここは、古くは円山と、後には正興寺山とよばれた小丘の地形で、大阪層群と呼ばれる古い地層が残っていました。

**⑪石切劔箭神社**  
「石切さん」と親しまれ、参拝者が絶えません。平安時代の「延喜式」に記されている千年以上の歴史をもつ神社です。神名は石をも切る鋭利な劔と矢を意味します。祭神は古代の軍事をつかさどった物部氏の祖神饒速日命とその子可美真手命の二神です。物部氏の一族、穂積氏がまつています。現在の社家は、かつて穂積氏と称していた木積氏です。奈良時代には、神社の傍に法通寺を建立され、その寺跡が残されています。拝殿前のクスノキは樹齢約五百年、市指定文化財です。

**⑫大西丹後守馬乗石**  
地蔵堂前の生駒石は、もとは、神並の辻のまん中にありましたが、丹後守は室町時代の終わりごろ、このあたりの豪族で、背が低かったのでこの石の上に立ってから馬に乗ったという伝承があります。墓は辻子の墓地に残されています。

**⑬日下公園**  
平成18年6月にオープン。近くで発見されたクジラや、日下貝塚で発見された貝などを模したオブジェや埴輪をモチーフにしたベンチなどがあります。生駒の山並みや大阪平野を見渡せる広々とした公園です。

**⑭日下リージョンセンター 根津家石灯籠**  
谷崎潤一郎は、一時、日新高校の北、池之端付近の山中にあった大阪の豪商根津商店の別荘に住んでいました。その時庭園にあった石灯籠が日下リージョンセンター前に保存されています。

眼下には第二阪奈高速道路と大阪平野が広がります

この日下・石切の「東大阪えとこマップ」は、東大阪観光協会 東大阪物産観光まちづくりセンター「めっけもんもうけもんまいど! 東大阪」のまち歩き資料として作成されました。これからも東大阪の魅力えとこ、発見して紹介していきます。

さくらお花見ポイント  
見晴らしのすばらしいビューポイント